

避難情報と防災気象情報

水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、国や都道府県が出す防災気象情報は、5段階※1の警戒レベルを用いて提供されます。

水害・土砂災害 〈避難情報など〉

警戒レベル	避難行動など	避難情報など
警戒レベル5	既に 災害が発生・切迫 している状況です。自宅・近隣建物などの少しでも高い場所へ移動し、 身の安全を確保 しましょう。 <small>※警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。緊急安全確保の発令を待ってはけません。</small>	緊急安全確保 〔市町村が発令〕
〈警戒レベル4までに必ず避難!〉		
警戒レベル4 危険な場所から 全員避難	速やかに危険な場所から避難先へ避難 しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。 <small>※警戒レベル4は避難指示に一本化され、これまでの避難勧告のタイミングで発令されます。</small>	避難指示 〔市町村が発令〕
警戒レベル3 危険な場所から 高齢者等避難	避難に時間を要する人(高齢者、障害のある方など)とその支援者 は避難をしましょう。 <small>※警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。</small>	高齢者等避難 〔市町村が発令〕
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報など 〔気象庁が発表〕
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 〔気象庁が発表〕

〈防災気象情報〉

【警戒レベル相当情報(例)】

警戒レベル5 相当情報

氾濫発生情報
大雨特別警報 など

警戒レベル4 相当情報

氾濫危険情報
土砂災害警戒情報 など

警戒レベル3 相当情報

氾濫警戒情報
洪水警報 など

警戒レベル2 相当情報

氾濫注意情報 など

(国土交通省、気象庁、都道府県が発表)
これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

※1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
(内閣府(防災担当)「避難情報に関するガイドライン 令和3年5月」より)

避難の心得

みんなで、逃げ遅れゼロへ! ～地域で声をかけあおう～

避難行動中に被災しないよう、**適切なタイミング**で避難しましょう。

避難とは**難を避ける**こと。**安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。**

避難先は、小中学校・公民館だけでなく、**安全な親戚・知人宅、ホテル、旅館等に避難する**※ことも検討しましょう。

※このような避難行動は「分散避難」と呼ばれる場合があります。

- 避難する時はひもで締められる運動靴で。長靴は中に水が入り、かえって動きにくくなります。
- はぐれないよう、子どもからは絶対に目を離さないようにしましょう。
- 歩ける深さは、男性で70cm、女性で50cmが限界です。また流速がある場合、足のくるぶし以上の水量があると、流され亡くなった事例もあり危険です。また、車の移動も控えましょう。無理をせず、高所で救助を待ちましょう。
- 互いの手をつなぐのは、行動の自由を奪うことにもつながります。非常持ち出し品などはできるだけ背負うようにして、手を自由におきます。
- やむを得ず冠水した道を避難する場合は水面下には、ふたの脱落したマンホール、側溝、段差など危険が多いので、長い棒を杖がわりにして、安全を確保しながら歩きます。
- 高齢者や身体の不自由な人は背負います。幼児は浮き袋、乳児はベビーバスなどを利用して、安全を確保します。

掲載した標語は平成19(2007)年度に募集した防災標語の部門別最優秀作品です。